

密着！ 一芸先生 人とつながるマジック 杉井治夫さん

本誌174号(1月号)の一芸先生を見た、和！輪！わ！ハウス(安倉西)の片山さんからの問い合わせで実現したのが、同サロンでの2月のお茶会「楽しいマジックと一緒に遊みましょう」。ゲストはマジックの一芸先生、杉井治夫さん。大きな動きと威勢の良い掛け声で、参加者を手品の世界へ誘いました。

杉井さんのマジックショーは見せるだけでなく、その場で参加者にやってもらう体験型。「みんながみんな、サッと出来るわけじゃないから面白いんです」と杉井さん。試行錯誤したり教え合ったりする姿を大切に、人とつながるマジックに取り組んでいます。

集まった18人は、お隣さん同士が協力してマジックに挑戦しました。「アレ？エー？何で？」。ああでもないこうでもない、と手を動かすと、時間が過ぎるのもあっという間。参加者からは、「いつも使っていない脳を使ったわ」「10歳は若返った！」とユニークな声が上がりました。

杉井さん自身、マジックを見る側でしたが、見せる側に回り、その面白さに気づいたそうです。現在はロープのマジックを習得中。一緒に楽しめる日が来るといいですね。



ストローマジックを教え、みんなで挑戦中。



紙を切ったり、シールを貼ったりしてMyサイコロを作ります。



マジックのはじまりはじまり〜。何がでるかおたのしみ。

【平成30年度活動活性費助成金報告会】

去る2月23日(土)にぶらざこむ1にて平成30年度ボランティアセンター活動活性費助成金報告会と2019年度助成金説明会が開催されました。報告会では活動活性費助成を受けられたグループの中から6グループにワールドカフェ方式で活動の報告をしていただきました。参加者からは「他のグループの活動を知ることができて良かった」などの声が寄せられました。助成金説明会では助成金についての事務的な説明と皆さんの助成金の原資はどこから来ているのか、などのお話をボランティアセンター運営委員会 福住委員長から説明がありました。助成金の多くは市の補助金や社協会費が原資になっていること知らなかった方が多いようでした。

報告会で使われた資料はぶらざこむ1のギャラリーに展示していますので、当日聴けなかった方は是非ご覧ください。現在、運営委員会では、相談ニーズの多様化に対応するため、センターのあり方や今後求められる機能、適切な名称などを検討し、今後の行政計画等に反映させられるよう検討を進めています。その内容については今後報告していきます。



防災 まち記者ラボ

防災に役立つような知識をまち記者のみなんで試してお伝えするコラムがスタート。

地震、大雨、最近の自然災害時でも避難所に行かず自宅に留まることも多いかと思えます。身の安全の次はやっぱり「食」。食べることは生きること。災害時だって栄養バランスは大切、体が元気でこそ心も元気。

お麩の植物性タンパク質は脂肪が少なくローカロリー。材料を用意したらポリ袋に入れて混ぜるだけ。普段のちょっとしたアウトドアにも活用出来る簡単時短レシピです。

【お麩チョコ】レシピは「もしもごはん」より



【材料・2人分】
お麩……10個
ココア……大さじ2
砂糖(お好みで) …大さじ1
水……大さじ2



【作り方】
ポリ袋にお麩と水を入れ水気を含ませておき、その中にココア、砂糖を入れてシャカシャカふって混ぜる。